

THIS IS  
ANIMATION  
ザ・セレクト  
7

超時空要塞  
**マクロス**  
**MACROSS**

THE SUPER DIMENSION  
FORTRESS-1 MACROSS

下巻



定価 **780**円



THE SUPER DIMENSION  
FORTRESS-1 MACROSS

THIS IS  
ANIMATION  
ザ・セレクト  
7

超時空要塞  
**マクロス**  
**MACROSS**

THE SUPER DIMENSION  
FORTRESS-1 MACROSS

下巻



定価 **780**円



THE SUPER DIMENSION  
FORTRESS-1 MACROSS

雑誌65285-10

ISBN4-09-101510-7 C0371 ¥780E

Printed in Japan ©Shogakukan 1983

定価 **780**円





超時空要塞マクロス・フィルムストーリー

# THE SUPER DIMENSION FORTRESS-1 MACROSS

## FILM STORY

文化の力は、強大なボドル基幹  
艦隊をも打ち破った。そして今、  
人類は新たな道を歩き始める…

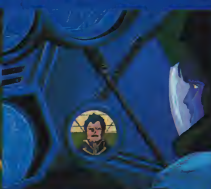




▲出撃するバーミリアン小隊



▲「バリエー急速展開」



▲陽動作戦中のカムジン



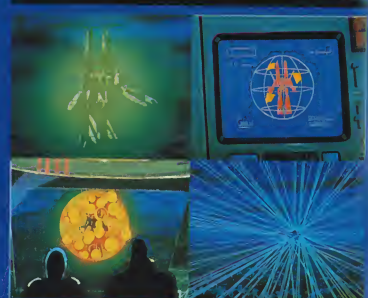
▲マイクロン化したミリア



▲ミリアを運ぶクアドラン・ロー



11 ▲カムジンの攻撃はやまない



▲新聞発全方位バリエーをはるマクロス

地球へ戻ったマクロス。しかし、安住の地はなかった！



▲マクロスは市街地の数百メートル上空を飛ぶ



▲示威行動に出たグローバル艦長



▲二人の胸中は……



▲寂しげなクローディア

▲「全責任は私がとる」



▲ミンメイが過労で倒れた



▲カムジンの攻撃が!!



▲マイクロンになるミリア

# 戦禍

●第19話  
バースト・ポイント

やっこのことで地球へと帰ったマクロスではあったが、地球  
統合軍本部はマクロスの民間人受け入れを拒否しつづけていた。  
グローバル艦長は、マクロスを低空飛行させる強硬手段をとって、  
受け入れ許可を得ようと努力していた。そんなとき、オントリオオ  
自治区より、避難民受け入れ許可の通信を入電、マクロスは進路をオ  
ントリオオへ向けた。そこへカムジン隊の攻撃が襲いかかる。マクロ  
スは防御のため、新聞発の全方位バリエーを起動させたが、あまり  
の猛攻にバリエーは過負荷となり爆発してしまった。この爆発で地  
上は大きな被害を受け、自治区も受け入れを拒否してしまっ

▲市民の受け入れ先ができた



カムジンをおさめるランダムス



▲消滅確にいらつカムジン





▲ブリタイに、地球戦線への復帰を命じるボドルザー



▲柿崎の死に沈む隊たち



▲自艦へ戻るブリタイ



▲指揮下の全戦艦を率い地球へ戻るブリタイ



13 ▲スパイたちがマクロスを出



▲地球退去の命令が届く



▶スパイたちもマクロスに未練が残る

# 追放

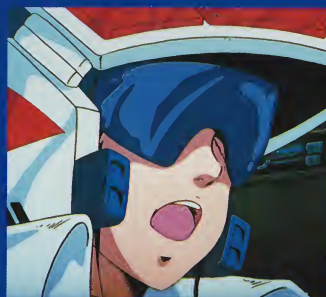
●第20話  
パラダイス・ロスト

ボドル・基幹艦隊旗艦へ戻っていたブリタイは、大艦隊をひきい、再び地球へと接近した。月の裏側へデフォーリスしたブリタイ艦隊。そのころ、マクロスに潜入していたマイクロリン・スパイ、ワレサ、ロリー、コンダの3人は、ブリタイ艦隊と合流するため、脱出を開始していた。ブリタイ艦に帰還した3人は、ブリタイとエキセドルに、マクロスで聞かされたことを報告。また、個人的に持ち帰ったミンメイ人形やキャンディなどで兵士たちに文化を広めた。一方、マクロスは地球退去を余儀なくされ、ミンメイの歌とともに、地球を離脱していくのだった。

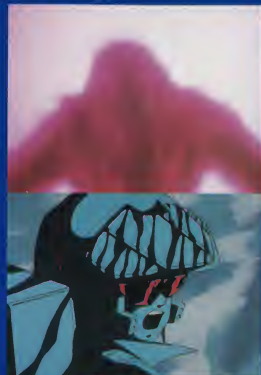
マクロスのバリアー爆発！ 輝は部下の柿崎を失った。



▲「逃げてえ!!」



▲バリアーが限界に近づく



▲バリアーが爆発



▲柿崎がぎせいになり、地表も破壊



▲緊急離脱する隊たち



▲爆発の閃光が広がる



▲TELは切られてしまった



▲無邪気なミンメイの声が、逆に輝の心に影を落とす

# 映画

●第21話  
マイクロ・コスモス



▲特別席を輝にプレゼントし、ゴキゲンのミンメイ



▲『小白竜』のプレミアパーティー



▲かんじんの輝への連絡がスレ違う



▲初日の舞台あいさつにきたミンメイ。ファンがとり囲む



▲街中をうろつくミリア

▲TELの用件が気にかかる



▲主題歌を歌うミンメイ



▲舞台あいさつ



▲ガッカリするミンメイ



▲輝の席は空席

地球退去命令によって、再び宇宙の放浪者となったマクロスでは、カイファンとミンメイが主演の超能力カンファ映画『小白竜』が完成し、初日をむかえようとしていた。

ミンメイは輝のために招待席を用意したが、ちょっとした行き違いから、輝は伝言を受けこねてしまった。

「小白竜」初日。映画館の前には朝から長蛇の列ができ、立見客が続出するほどだった。輝と未沙は、それぞれ立見でこの「小白竜」を見ていたが、ミンメイとカイファンのキスシーンにいたたまれず、途中で抜けだし、映画館のロビーで偶然顔を合わせた。

地球から追放されたマクロスは、また流浪の旅がつづく。



▲ブリタイ艦に戻ったスパイ



▲ラブラミスから対地球戦を引きつづ



▲ブリタイ艦隊が月裏面に集結



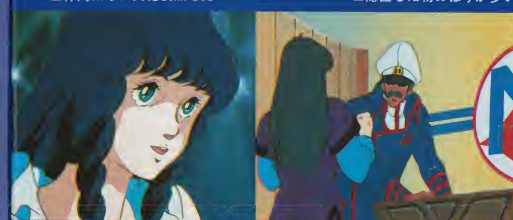
▲仲間たちに文化製品を見せる3人



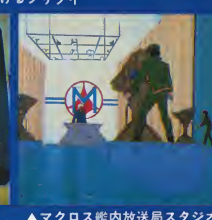
▲隠匿した物のほうが多い



▲報告を受けるブリタイ



▲重大発表が始まる



▲マクロス艦内放送局スタジオ



▲地球を離脱するマクロス



▲グローバル市民たちをはげますミンメイ



▲あふなく助かるミンメイ



▲昔、輝に助けられた時の記憶がよみがえる



▲トランス・フォーメーションが早すぎ地割れが



▲基地へ急ぐ途中で壁にはばまれる



▲とじこめられた輝と未沙



▲なぜかケンカになる輝と未沙だが

一方、ブリタニ艦隊では、「小白竜」の映像をキャッチし、地球人が、伝説の力を持つプロトカルチャーであると信じはじめていた。そのころマクロスはセントラーディ軍の攻撃を受け、トランスフォーメーションに入った。輝と未沙は基地へ向かうとして、袋小路に閉じこめられてしまう。ふたりきりになった輝と未沙は、心細さをまぎらすために、たがいのことを話した。そうしているうちに、輝と未沙の間のさこちなさが、少しづつはぐれ、ふたりはあたりに優しい感情を覚えはじめるようになった。トランスフォーメーションが解除された後、輝と未沙は一緒に歩き始めるのだった。



▲仲良く歩くカイフとミンメイにショックを受ける輝と未沙



▲いつしか心の交流が



▲映画を戦闘記録と考えるブリタイたちは、なぜ人々が喜んで見ているかわからない



▲セントラーディ艦内でもこの模様は流れていた▲ショックを受ける輝



▲いたたまれず外へた輝と未沙。その時、敵襲が……。



▶超能力をプロトカルチャーの力と誤解する



▲それぞれの胸に、せつない恋の想いが



▲ミンメイのコンサートはブリッジにも中継されている



▲亡命者たちも潜む



▲待機する戦闘ゴッド群



▲カイフンもミンメイを女として意識



▲出撃命令を出すグローバル



▲マクロスへの攻撃が始まる

ゼントラーディ軍の中に広まる文化。その波紋は……。



▲これがプロトカルチャーの力!?



▲驚くボドルザー



▲兵士たちの動揺に怒るカムジン



▲文化はゼントラーディに広がる



▲ワレラたちは亡命を決意する



▲「ミンメイを守るために闘う」輝のまよいはなくなった



▲ボドルザーの攻撃命令が

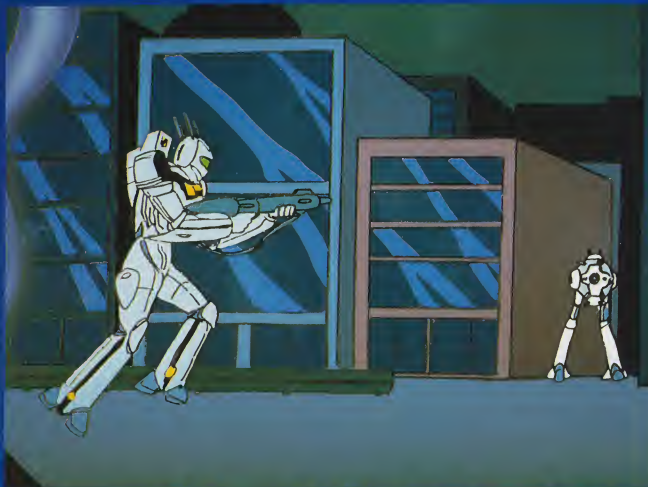
# 侵入

●第22話  
ラブ・コンサート

ボドルザー基幹艦隊司令から、マイクロン捕獲の命令を受けたフリタイは、マクロスのダイダロス・アタックを逆手にとって、リガート隊をマクロス内部に送り込む作戦を計画した。

そのころ、フリタイ艦隊のゼントラーディ兵の間には、ワレラたちが持ち帰った文化が広がり、マクロスへ投降を考え始めた者も出てきていた。ワレラたち3人組を中心としたこの投降希望者たちは、マイクロン化してチャンスを持った。

艦隊戦を挑んできたフリタイ艦にダイダロス・アタックをかけるマクロスだったが、逆にリガート隊の侵入を許してしまった。



▲艦内の激しい戦闘



▲ミンメイを見た兵士たちは戦意を失う

▲暴れるカムジンたち



21 ▲ミンメイを見つけた

▲ブリッジ

▲怒るカムジン

# 亡命

●第23話  
ドロップ・アウト

ダイダロス・アタックを逆用し、マクロス内部に多数の戦闘ボットが乱入した。マクロス側は、デストロイド、バトロイドで防戦したが、その戦闘はマクロス内部の市街地に破壊の渦をもたらした。しかし、ゼントラーディ軍兵士たちの間に広まりつつあった文化は、彼らに戦闘命令を拒否させ始めていた。また、マイクロン化した命希望者たちは、戦列を抜けて脱走に成功していた。そのころ輝は、コンサートを開いていたミンメイの身を案じて、ハルキリーでコンサート会場へと向かっていった。だが、そこでミンメイにキスするカイフンの姿を目にして、輝は敵に怒りをぶつける。

ミンメイのコンサート会場に現れたリガード隊。その時ミンメイは……。



▲ダイダロス・アタックを逆用される



▲コンサート会場にも不穏な空気が



▲艦内になだれこむ戦闘ボット群



▲なぜかコンサート会場の外に立ちつくす敵



▲驚くブリッジ



▲カイフンを手当てするミンメイだが……。



▲「あいつだ!!」



▲マックスのハルキリー



▲カイフンの収容された病院へ行く彼の両親のかわりに店内を掃除



▲出撃する輝たち



▲掃除の後の一服もつかの間、新たな敵が

敵前逃亡する兵が出始めたゼントラーディ軍は、退去していった。ゼントラーディ軍からの脱走者たちは、マクロスに亡命を希望。グローバル艦長は関係者を集めてこれを討議した。精密検査の結果、ゼントラーディ人と地球人の血液型、遺伝子構造がまったく同じであることが判明し、グローバルは亡命者たちの受け入れを許可した。この亡命者の一件で、カイフンへの想いが断ち切られた未沙は、再び開始されたゼントラーディ軍の攻撃を見て、一日も早く戦いをやめさせなければと決意した。そして地球統合軍本部を脱走するため、地球への帰還許可を艦長に申し立てたのだ。



▲未沙は地球へ向かう



▲当面の敵は撃退した

マクロス内で戦闘！ 街は破壊されていく。そして、ミンメイは……。



▲カイフンにキスされるミンメイ。ショックの暈は大暴れ



▲壊れた街に、心痛を覚える亡命者たち

▼敗戦を知る



▲亡命が認められたワレラたち



▲旧コードで位置を確認



▲連絡ミスにあせるシャミー



▲「それどこだよ！」輝は新座標コードを知らない



▲輝のスーパーバルキリーは超高速で現場へ急行、敵を撃破する



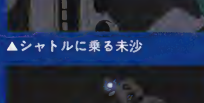
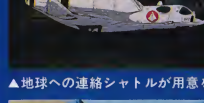
▲マックスはゲームセンターで、ミリアに出会う



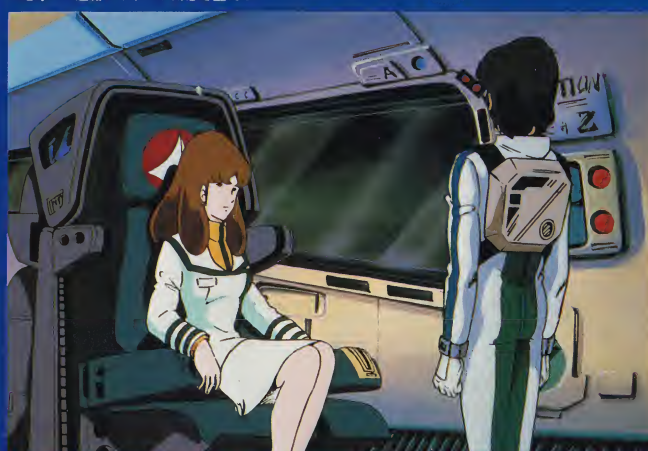
▲未沙は地球で父と再会する



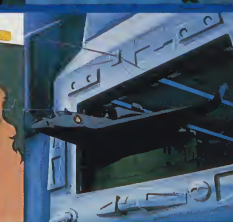
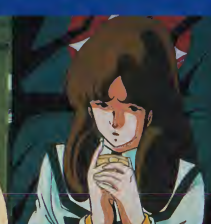
未沙は軍本部を説得に地球へ……。残された輝の胸中は……。



▲地球への連絡シャトルが用意を整える



▲シャトルに乗る未沙



▲霞にはまり残るシャトル

# 岐路

●第24話  
グッバイ・ガール

マクロスから地球へ向かう未沙のシャトル。このシャトルに対しカムジン隊が襲いかかった。護衛のバルキリーはつきつきと撃墜されていった。未沙の危機に、輝はブービーダックで救援に向かう。輝たちの活躍でカムジン隊は退去した。輝は未沙に発光信号で別れの挨拶を送るのだった。――幸運を祈る――  
地球に着いた未沙は、父・早瀬提督を説得しようとしたが、グラウンド・キャノンの使用の決定はくつがえせなかった。輝は気晴らしのために、マックスとゲームセンターへでかけた。そこで、マックスはミリアと勝負し、デートの約束をとりつけた。





▲デートの場所に現れたミリアは、ナイフでマックスを襲う



▲ミリアのナイフをはじきとばすマックスは、くやし泣きするミリアに一目惚れ



▲結婚したいというマックス。だが相手が悪い



▲最初は反対した輝だが、戦争終結を思い、力になる



▲ふたりのキスシーン。マックスの優しさにじむ

# 結婚

●第25話  
バージン・ロード

夜の公園で、マックスはミリアを待っていた。しかし、突然姿を現したミリアは、マックスをカタキと決めつけ、ナイフを手にして決闘を迫った。からくもナイフをかいたマックスは、ミリアと対峙した。マックスの投擲がミリアの攻撃をおさえ、ミリアは敗北を喫した。深く死を求めるミリア。マックスは思わずミリアにロブけをする。そして、マックスはミリアとの結婚を決意した。クロイバル艦長はふたりの結婚を許可し、その結婚式の模様は、ブライタイ艦隊へも中継された。この中でクロイバルは、亡命希望者を快く受け入れるという態度を示したのだった。

ミリアとマックス、ゲームセンターで再戦。その戦い方にミリアは……。



▲ミリアに勝負を挑むマックス



▲未沙にランド・キャノンを見せる提督



▲マックスはミリアにデートを申し込む



▲カイフンの発言にショックの輝。公園でもの想いにふける輝に、クロイディアは未沙のほうが似合いとすすめる



▲結婚式にショックを受けるブリタイたち。グローバルはこれが平和へのかけ橋となることを願っていた。



▲ボドルザーは文化による汚染を恐れ、地球せん滅を命じた。



▲ふたり仲良く出撃するマックスとミリア。一方、ブリタイ艦隊にも戦争反対者が現れる。



▲マックスとミリアの新婚生活もなかなか大変

▲遂に停戦を決意したブリタイ

ミリアとマックスの結婚式！ 戦うときはいつも一緒に……。



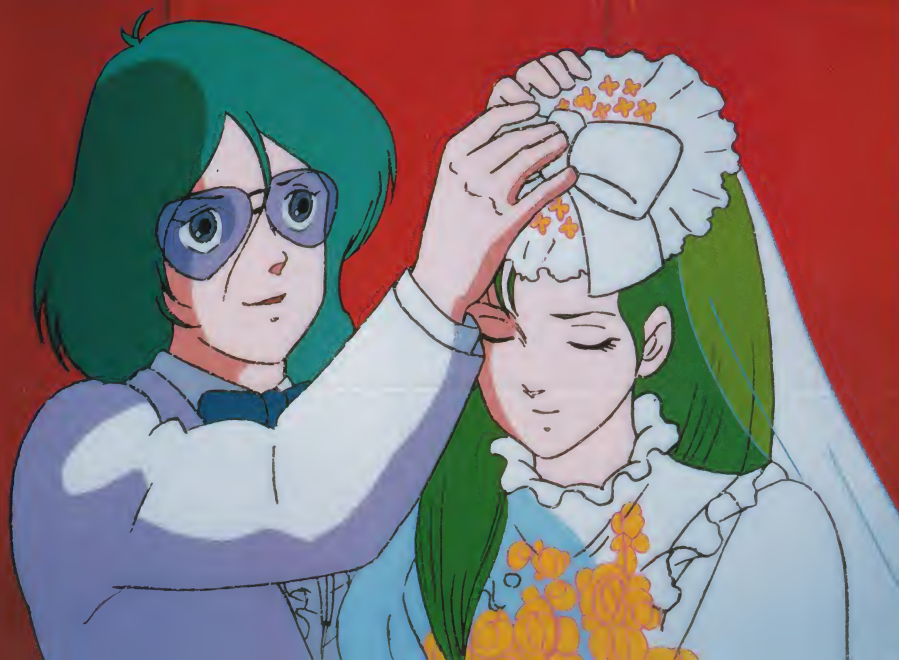
▲プロメテウスから、レーザー光帯のバージン・ロードがのびる



▲この結婚式は、大々的に電波に乗せ流された。



▲視聴の中を飛ぶマックス機



ボドルザー基幹艦隊司令は、この結婚式を目にし、これ以上の混乱は危険であると判断した。ブリタイ司令にマックスの機体が命令された。ただちにセントラーディ軍はマックス攻撃を開始した。結婚式を半ばにして、マックスはミリアとともに出撃した。その戦いの中で、マックスはミリアの頼みを聞いて、敵の戦力だけを奪う闘い方をしたのだ。そして、これを見た輝もまた、同じような攻撃方法を試みた。そのころブリタイ艦隊内では、戦いを拒否し、マックスとの停戦を求める兵士たちが立ちあがり、ブリタイは停戦を決意し始めた。



▲エキセドルに気づき緊張のミア



▲マクロス艦内は驚くことばかり



▲亡命者たちはみなエキセドルに驚きあせる



▲ミンメイが呼ばれた



▲統合本部に勤務させられる未沙



31 ▲文化については、お互い驚くことばかり



▲「私の彼はパイロット」を歌うエキセドル

マクロスに迫る1隻の戦艦——それは停戦の使者だった!!



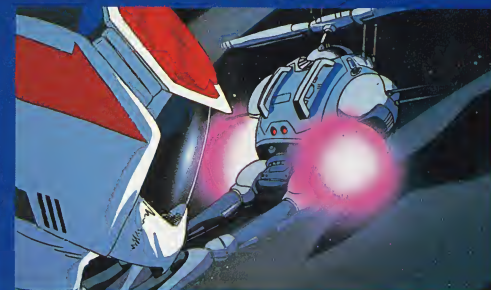
▲ブリタイ艦接近に緊張するブリッジ



▲ブリタイ艦を追い抜き攻撃に出ようとする戦闘ボッドを、ブリタイ艦が破壊。なぜだとカムシが怒るが...



▲和平交渉の使節にエキセドルがきた。



▲敵を護衛することにとまどう輝たち

# 停戦

●第26話  
メッセンジャー

停戦を決意したブリタイは、その使者としてエキセドルをマクロスへと送った。エキセドルにとってマクロスの市街地は驚きの連続だった。マクロスの審問室へ集められた、プロトカルチャーショックの関係者を前にして、エキセドルはゼントラーディ人にとっての戦いと文化の意味を語るのだった。

そのころ、ポドルザー基幹艦隊は地球への移動を決定。地球とともに自分たちも消去されることを悟ったブリタイ、ラブラミスは、本隊との戦いを決意していた。480万隻を相手に地球と10000隻の戦いが、いままさに始まるようとしているのだった。



# 決戦

● 第27話  
愛は流れる

ポドル基幹艦隊が地球軌道へ、とつぎとつデフォールドし、地球はゼントラデー軍大艦隊によって、完全に包囲された。地球統合軍の呼びかけに應じ、ゼントラデー大艦隊の砲撃が始まった。地表をなめやかにして広がつていく般の閃光。第一波の攻撃により、地球のよわかに統合軍本部を残した一閃滅してしまっていた。

この様子は宇宙空間のマクロスからも見てとれた。決戦を前に、ミネイに自分の気持ち伝えてみた輝。その輝の部屋で彼を追いかけてきたミネイは、地球全滅に思わず泣きくずれのだった。



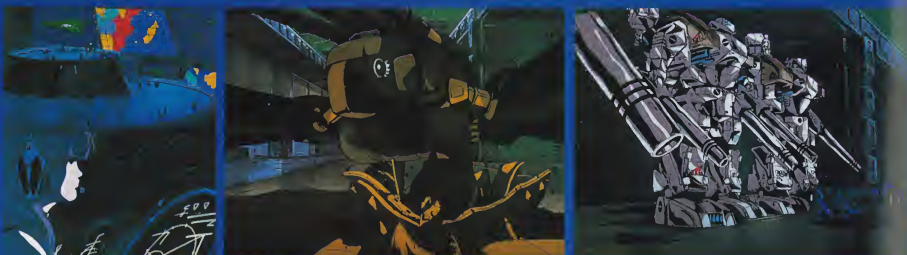
▲マックスたちも出撃。輝はこの世のなごりにミンメイに告白した。



▲ミンメイの未練をたち出撃する輝。



▲ミンメイはカイフンの手をふりほどき、輝の後を追う



33 ▲マクロスも地球も、全面戦争の体勢に突入

宇宙に響くミンメイの歌！ そして基幹艦隊が出現し、地球を覆いつくす。



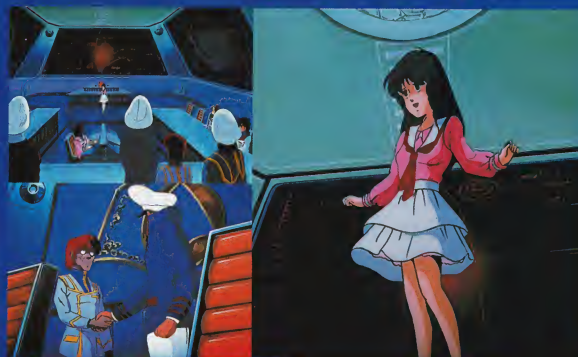
▲基幹艦隊出現は時間の問題だった。



▲ラブラミズはボドルザーにすべてを報告していた。



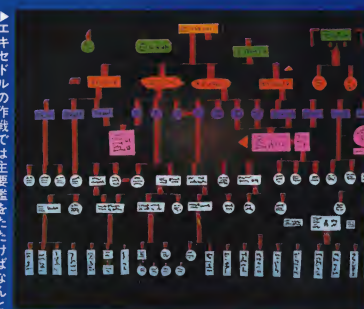
▲ラブライズもポドルザーとの戦いを決意。しかしカムジンはマクロスを守るのが気に入らない。



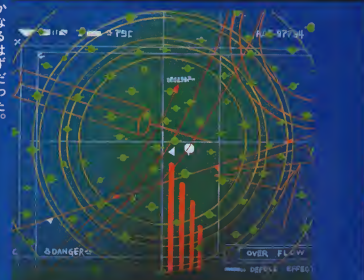
▲マクロスとブリタイ艦隊に協定が結ばれる。



▲遂に基幹艦隊が現われ始めた。

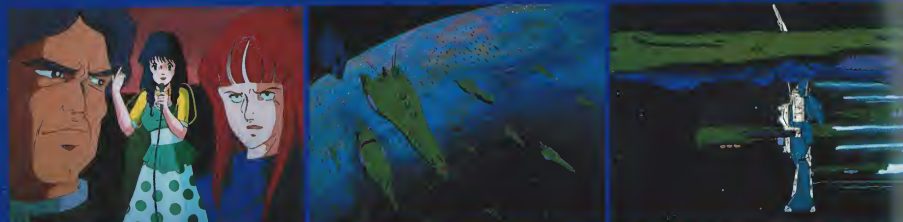


▶エキセドルの作戦では主要艦をたたけばなんとかなるはずだった。





▲グランド・キャノンが敵の一部を消滅させたが…



▲ミンメイの歌に、予想どおり基幹艦隊に激しい動揺がおこる。マクロスと友軍は一気に反撃に出た！



泣きやくりながらも歌をロサむミンメイ。そんなミンメイの姿に、輝はひとつのアイデアを思いついた。そして、ミンメイにみんなのために歌ってくれと頼むのだった。  
輝のプランはただちに採用され、識別信号と敵艦隊への心理攻撃を兼ねて、味方の艦および戦闘機は、ミンメイの歌を中継、発信することになった。  
そのとき、地球統合軍本部のグランド・キャノンが発射された。その光は地球を包囲したポドル艦隊の一端を破壊した。マクロスとフリタイ、ラブラミスの連合艦隊は、敵艦隊へ優攻を開始した。

地球壊滅！ 輝はミンメイの歌を武器にすることを思いつく。



▲輝はふと、セントラーディンと与える、ミンメイの歌の影響を思い出した。



▲輝の部屋をおとずれるミンメイ



▲しかしふたりにとって時間がたちすぎていた。

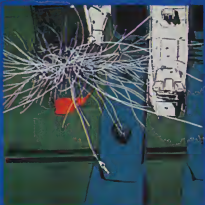
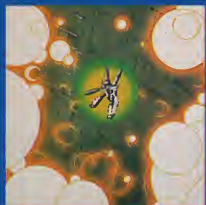


▲遂に基幹艦隊の攻撃が。たった一度の一斉砲撃に、地球は壊滅した。

ミンメイの歌とともにマクロスは敵艦隊を突き破って進軍した。その戦いの中で、輝のバルキリーは大気圏に突入してしまふ。一方、アラスカの統合軍本部は降りそぐ敵の攻撃に壊滅状態に陥っていた。父・早瀬提督も死に、ひとり残った未沙は生存者を求めて通信をくりかえした。地表へと降下してきた輝はこの通信をキャッチ、未沙を救出に、破壊された統合軍本部へと向かった。そのころマクロスは敵艦隊内に突入し、内部からこれを撃破した。地表へと脱出した輝と未沙、そこへミンメイの歌とともにマクロスが降下してきた。ふたりはマクロスへと向かうのだった。

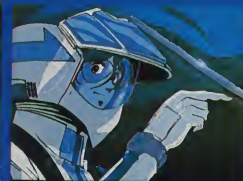


▼ボドルザーの最期

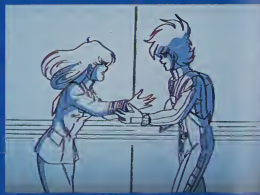


37 ▲希望の光マクロスを見つめるふたり

▲ボドルザー艦にマクロスと突入する



▼輝は未沙を救出した



▲激しい戦闘が続く。統合本部も敵の反撃を受け、グランド・キャノンも二度と輝かなくなってしまう



▲輝は大気圏内まで落下してきた。ふとミンメイとの初めての、そして別離のキスを想い出す。その時、未沙の声が響いた！



▲カムジンもミンメイの歌に動かされ、マクロスの味方についた。



▲営利を求めるカイフンとログンカをしたミンメイは、なぜか輝を思い出す



▲ゼントラーディ人の暴動が起こり、非番の未沙にも招集がかかる。



▲未沙は基地へと帰ってきた輝に、自分のスナップを手渡すのだった。



▲輝はカイフンとミンメイのケンカを偶然目撃した。



未沙は輝の部屋でミンメイばかりのアルバムを見つけた。



▲大決戦から2年。地球にも緑が戻りつつあった。輝はタンポポの群生に、幼い頃を思い出す。



▲未沙は輝の部屋の掃除中、ミンメイの写真だけのアルバムをみつけた。



▲輝はパトロールの途中、近くでミンメイのコンサートが開かれているのを知る。



▲未沙はマックス夫婦に自分の夢を重ねる。



▲生き残った人びとを力づけるために歌うリン・ミンメイ

# 写真

●第28話  
マイアルバム

ボドル基幹艦隊との決戦から2年。生存者は着陸したマクロスの周辺に街を作った。地球上にわずかに生き残った人々も小さなコロニーを築きつつあった。ミンメイはカイフンをマネージャーに、これら小さな街を巡視し、人びとを歌で元気づけていた。

一方、輝は、地球に住みついていたゼントラーディ人の不穏な動きを鎮圧するパトロール隊の任についていた。そして、その留守に、未沙はときどき輝の部屋を掃除するのだった。その掃除の途中、ふと目にしたアルバムは、ミンメイの写真ばかり。未沙は飛行場で帰還した輝に封筒を渡し走り去る。中は未沙のスナップ写真だった。



▲久しぶりに「娘々」に帰ってきたミンメイは大歓迎された。自分の部屋で、ミンメイは輝とのことを思い出していた。



▲マクロスシティを散歩していたミンメイは、輝と未沙が仲良さそうに散歩しているのを目撃、思わず逃げだしてしまっった。



▲自動工場衛星奪取計画がたてられた。

▲ミンメイは歌う。

▲地球の生活になじめないゼントラーディ人たち

ゼントラーディ人たちの間に不満がくすぶり始めていた。



▲あまりに少ない客にとまどうミンメイ



▲地球人とゼントラーディ人の共通点は好戦的な性質



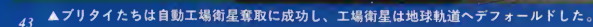
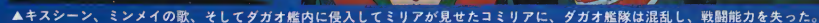
▲ミンメイはマクロスシティに帰りたいとカイトに頼んだ。

# 暴徒

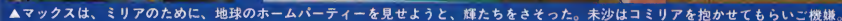
●第29話  
ロンリーソング

ゼントラーディ人の中には、地球の生活になじめずに、不満をもち、暴徒が増え始めていた。輝はパトロールも兼ねて、毎朝ジョギングをするようにしていた。

そんなある日、ミンメイは久しぶりに「娘々」に帰ってきて、自分の部屋で輝との思い出にふけていた。ミンメイは、なんのために歌をうたっているのか、わからなくなっていたのだ。よく朝、散歩をしていたミンメイは、輝と未沙が連れだって歩いているのを目撃し、ショックを受ける。しかし、偶然耳にしたゼントラーディ人の言葉から、もう一度、自分自身のために歌う決意をしたのだ。



▲奪取計画に参加する地球人たちは、ブリタイ艦に乗り込むため、地球から飛びたった。



● 第30話  
ビバ・マリア

マクロスでは、防衛力強化のため、セントラーイ軍の自動宇宙船製造工場星を奪取する作戦がたてられていた。マクロスの主だったメンバーは、セントラー艦に乗艦、ミリアは子もを連れこの作戦に参加した。未沙はミリアの娘コシリアを抱かせるまい、輝に自分の気持ち打ち明ける決心をする。しかし、監禁軍の大破した戦艦発見で中断されてしまった。この戦艦が覆であることも考え、ミリアは工場星へ急ぐ。工場星を守る心理攻撃隊に対して、ブリタイ司令は、ミンメイの歌、キス、など心理攻撃を加えた。さらにコシリアの存在が、ダガオ艦隊を混乱させ敗走させた。



▲新築の大ホールで、ミンメイのコンサートが開かれる予定。トラッド・シティに、カムジンの部隊が迫っていた。



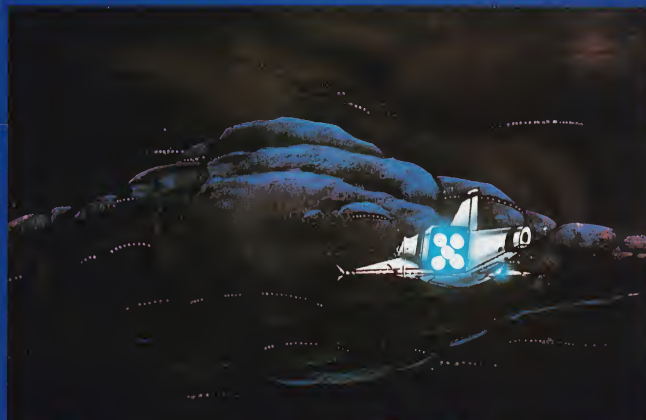
▲マクロス内ではエキセドルによる研究結果が報告されていた。

▲カムジン隊は装置を守る街の守備隊を蹴ちらした。



45 ▲大被害を受けたトラッド・シティを出るミンメイを、輝はただ見送ることしかできなかった。

不満分子を集めたカムジンはマイクロン装置を狙った。



▲ようやく手にした自動工場もかなり破壊され、故障も多いといった状態だった。



▲なかなか装置が奪えずいらだつカムジン

▲輝はマイクロン装置を守るために出動した。



▲輝は装置の安全のために、持ち帰ることを主張したが、カイクンに扇動された市民たちの反対で持ち帰れなかった。

# 反乱

●第31話  
サタン・ドール

宇宙遠征戦は成功し、元ゼンラーディー軍の自動工場衛星は、地球のラグランジュポイントのひとつに設置され、地球の防衛力を強化するための兵器の生産に入り始めた。

しかし、地球上ではゼンラーディー人の暴動がいつぎ、マイクロン装置を奪うような動きも表れてきた。輝は、この装置のひとつを保管するトラッドの街に向かい、暴徒の手からの装置を守るためマイクロスへ持ち帰ろうとした。そこへ、カイファが市民を暴動したに反動。結局、マイクロン装置は街に残された。だが、輝たちが去った後、カムジン隊が攻撃、装置は奪われてしまった。



▲カイフはカムジンたちを説得しようとするが失敗。カムジンとラブラミズは“文化”する。そこへセントラーディ人からの通信が入ってきた。



▲セントラーディ人の通信は図だった。そうとは知らないカムジンは、ほとんど全員を引き連れて出撃した。



47 ▲輝とミンメイの再会。しかし未沙は輝にカムジン追跡を命じた。

▲この隙に輝は人質を無事取り返すことに成功した。

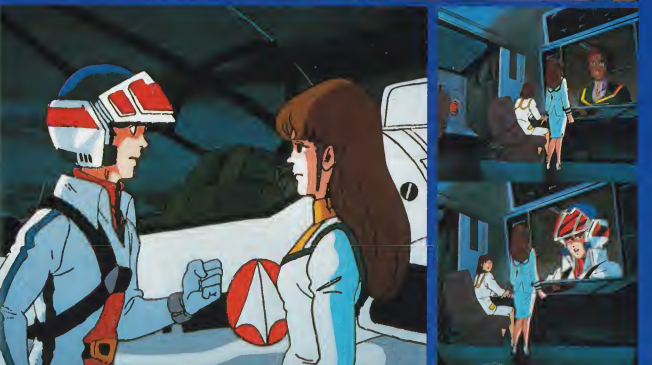
カムジンはミンメイたちを人質にとり、戦艦を要求した！



▲マクロス側はカムジンたちを追跡したが、彼らを捕えることができなかった。



▲ミンメイのコンサートを襲ったカムジンは、ミンメイとカイフを人質にした。



▲人質奪回作戦開始！

# 人質

●第32話  
ブローケンハート

マイクロン装置の奪取に成功したカムジンは、文化に適應できずに集まったセントラーディ人たちをつぎつぎと元の大きさに戻し、再び軍隊を作りあげつつあった。

これに対し、マクロス側では未沙を中心とした調査隊によって、カムジンたちの足どりを追いかけて、武器の没収を図った。しかし一足遅いで逃げた彼らは、ミンメイとカイフを人質に、戦艦一隻をグローバルに要求してきたのだ。輝は一計を案じ、街に陣取るカムジンたちを誘いだした。そして、手薄になったところへバルキリーで突入、ミンメイたちを無事救出することに成功したのだ。



▲グローバルにカムジンから通信



▲戦艦を1隻要求するカムジン



▲捕虜のミンメイ



▲未沙に言い過ぎたのではないかと考えこむ



▲未沙の家のドアをたたき輝



▲輝はクロードの家に電話を入れる



▲電話を受けるクロード



▲あやまる輝。未沙はクロードにもった紅茶に輝を誘う。ふたりの間に再び温かい感情がかよひ始めた



▲新入隊員としてある統合軍基地に配属されたクロードは、そこでフォッカーと出会う



▲マクロスへ配属転換されたフォッカーとクロード。フォッカーの意外な一面を知る



ちょっとしたことから輝と未沙は気まぐらになってしまった



▲カムジン追撃で輝と気まぐらになった未沙に、クロードは仲間おしするよう紅茶をプレゼントする



▲帰投後、連絡を受けた輝は、報告書提出の要求と思ひこみ、仕事熱心も度が過ぎるとイヤミだと悪態をついて、なんとヴァネッサをお茶に誘う

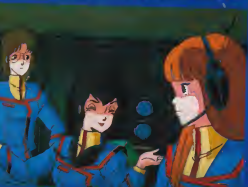


▲三人娘は未沙たちの噂話に花を咲かす

# 回顧

●第33話  
レニー・ナイト

ミンメイのことで、輝との間が気まぐらになってしまった未沙は、そのことを後悔していた。そんな未沙を元気づけ、仲直りの口実にと紅茶を一手渡したのはクロードだった。しかし、またもやロゲンカとなってしまった未沙。クロードは彼女を自分の部屋に招いて、酒を酌みわししながら、自分とフォッカーとの昔話を未沙に語り、あせってはいけないと忠告するのだった。その頃、輝は、自分も少し言い過ぎたのではないかと反省し始めていた。未沙にあやまろうと決心した輝は、クロードの家にむかえにいく。未沙はそんな輝を、お茶に誘うのだった。





▲輝はデストロイド・スパルタンに乗り、ゼントラーディ人の暴徒を鎮圧



▲輝はまさかと思ながらも約束の場所へと向かった。そこには未沙の待ちつづける姿があった



▲未沙の首にマフラーをかける輝。だが未沙はそのマフラーのイニシャルを見て、輝を残して帰ってってしまうのだった



▲コンサート会場で、ミンメイは歌いたくないと言って逃げだした。カイファンはそんなミンメイに別れを告げ、ひとり旅立っていった

輝は未沙との約束を破ってミンメイとデートするが……



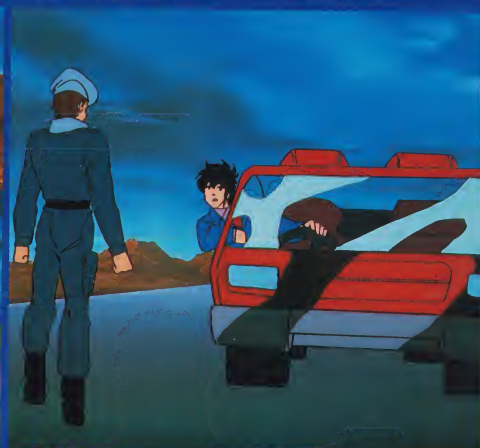
▲未沙とハイキングの約束をした輝。しかし、ミンメイからデートの誘いがかかってきた



▲輝は未沙と連絡を取ろうとしたが、未沙はすでに家を出ていた。輝はミンメイとデートする



▲ミンメイとのデートでマフラーをもらった輝。だがカイファンが出現し、ミンメイを連れ去った



▲ゼントラーディ人の暴徒が空港を襲った。輝もその鎮圧に参加する。そのころ未沙は約束の場所で、ひとり待ちつづけていた

# 哀愁

●第34話  
プライベート・タイム

仲直りした輝と未沙。輝は未沙をハイキングに誘った。しかし、約束の待ち合わせ場所へ行こうとしていたとき、輝にミンメイから電話がかかってきた。すぐに会いたいというミンメイ。輝は迷いながらも、ミンメイに会いに行ってしまう。ひとり、約束の場所で待ちつづける未沙。約束の時刻はとうに過ぎていた。ミンメイとデートする輝は、彼女からマフラーをプレゼントされた。しかし、そこへカイファンが現れ、ミンメイは連れ去られた。輝は未沙との約束の場所へ急ぐ。なんと未沙はまだ待っていた。しかし、マフラーの文字を見た時、彼女は怒って帰っていった。



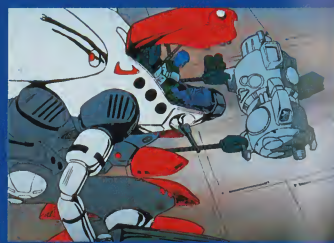
▲輝はニュースでカムジンたちの襲撃を知り出撃する。ミンメイはその間に人目をしのいで買物にでかけた



▲工場街の火災を消火して輝はミンメイの待つ部屋へ……クリスマス・イブ



▲輝とミンメイ、ふたりさりのクリスマス



▲カムジンは反応エンジンを奪取した

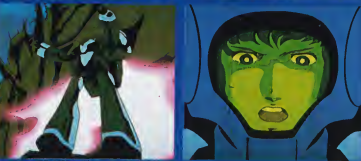
輝のもとへ身を寄せるミンメイ——それを知った未沙は……



▲誰とも会いたくなかったミンメイは、ふと輝の優しさを想い出していた



▲クロードはフォッカーと過ごしたクリスマス・イブを思いうかべていた



▲工場街を襲うカムジンたち



▲未沙は輝の部屋で見たふたりの姿を忘れようと深酒をする



# 聖夜

● 第35話  
ロマネスク

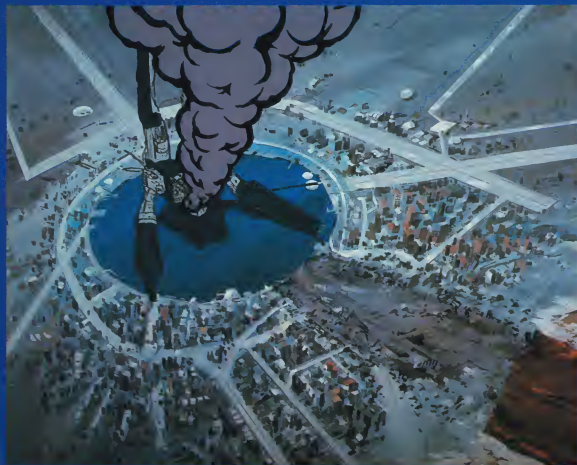
カインが去り、完全に自分を見失ったミンメイは、いつしかマクロス・シティへきていた。クリスマスの夜、チャイムの音にドアを開けた輝が見たのは、雪の中に立つミンメイの姿だった。そのころ、カムジンは地球へ墜落した戦艦を手に入れ、再び宇宙へ飛びたつために修理をつづけていた。そして、反応エンジンを入手するためにオノギ・シティの工場を襲撃した。輝の部屋にミンメイがいることを知った未沙は、輝にこの襲撃を知らせなかった。カムジン隊はまんまとエンジン室を奪って退去した。ふたりだけのイブ。輝とミンメイはそっと顔を重ねた。



▲輝に告白し、未沙は去ろうとした。未沙を追いかけて輝をミンメイは必死になって止めようとするのだった



▲街はカムジンの攻撃を受け炎上する。輝と未沙は出撃しようとする。そんな輝を止めようとしたミンメイは、未沙に教えられる



▲カムジン艦主砲発射!!



▲カムジン艦主砲の直撃を受け、炎上するマクロス

戦艦を手に入れたカムジンが、再びマクロスを襲う!!



▲輝、ミンメイ、未沙の3人は、それぞれ迷っていた



▲カムジンたちは戦艦の修理を終わらせ、マクロス目標に発進した

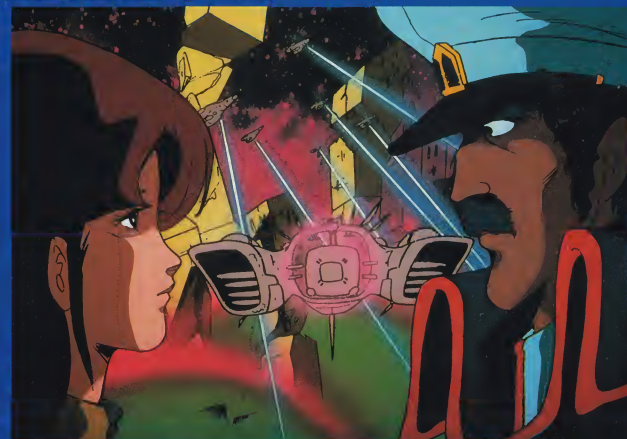


▲未沙は軍をやめようと考えたが、グローバルから宇宙移民の話聞き、軍にとどまる決意をした。そして輝たちを訪ねた

# 出発

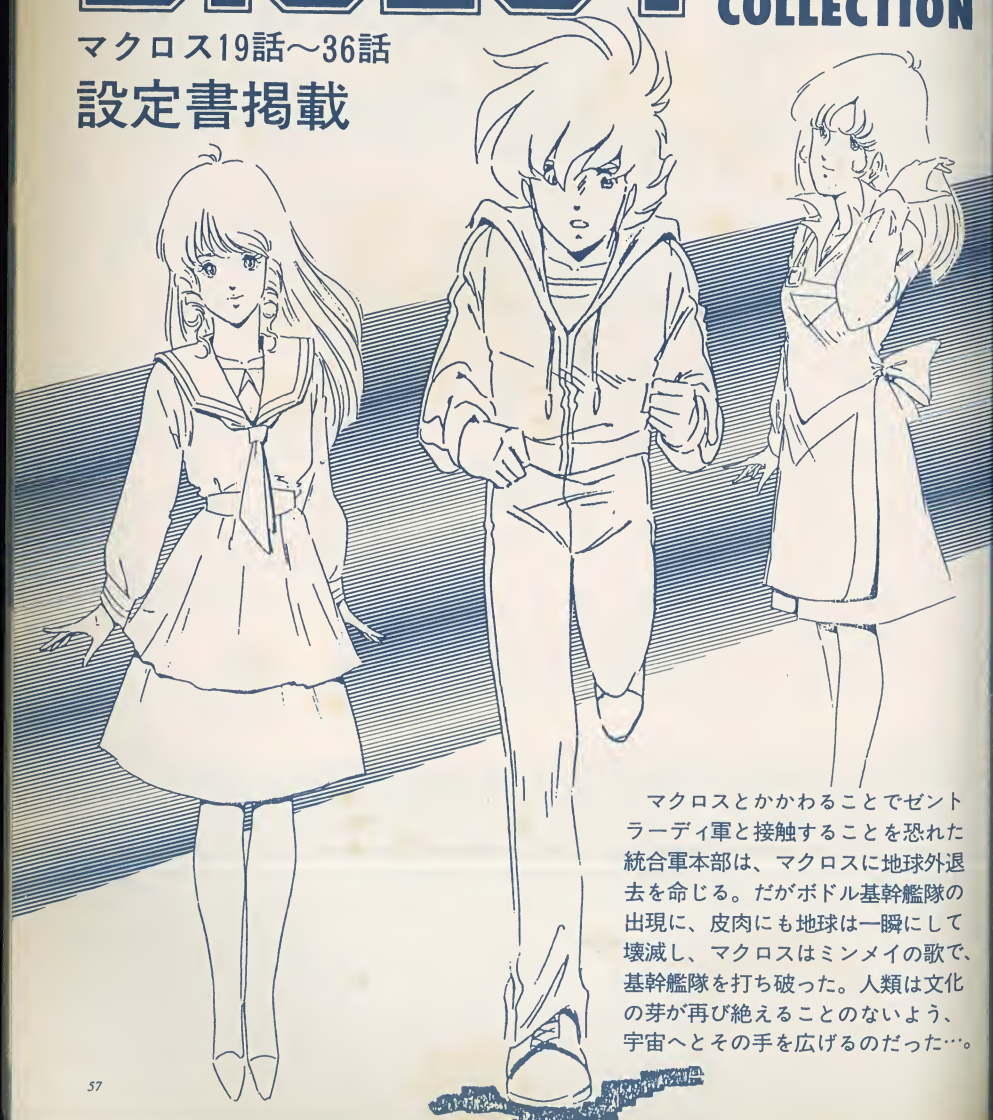
●第36話  
やさしさ サヨナラ

未沙は軍を退く決心を固めつつあった。しかし、グローバルから第一次移民船の艦長の話を聞き、軍にとどまろうと思いを直した。一方、輝はミンメイから軍人をやめるように頼まれ、迷っていた。輝が軍人をやめれば、ミンメイも歌手をやめるといふ。もう一度、昔に戻ってやり直したかったのだ。そこで、未沙を訪ねてきた。未沙は輝にやっと自分の気持ちを正直に伝え、ミンメイに歌を大切にと言いつけ走り去る。そのころ、カムジン艦は戦艦の修理を終え、宇宙へ再び出る前にマクロスを破壊しようとして発進していた。



# STORY DIGEST & BLUE PRINTS COLLECTION

マクロス19話～36話  
設定書掲載



マクロスとかかわることゼントラーディ軍と接触することを恐れた統合軍本部は、マクロスに地球外退去を命じる。だがボドル基幹艦隊の出現に、皮肉にも地球は一瞬にして壊滅し、マクロスはミンメイの歌で、基幹艦隊を打ち破った。人類は文化の芽が再び絶えることのないよう、宇宙へとその手を広げるのだった…。

マ ク ロ ス  
FILM STORY

★VOL. 36

やさしさ サヨナラ



▲マクロス主砲発射！ カムジン艦が切り裂かれていく

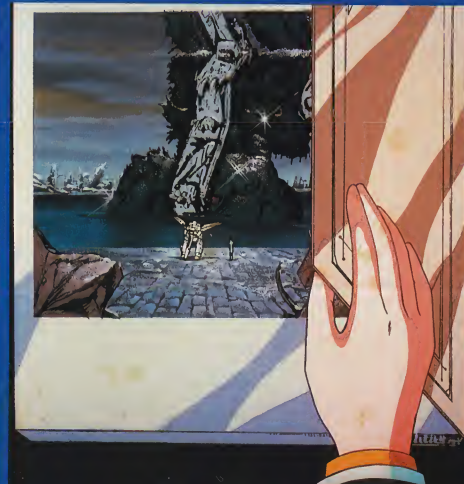


▲カムジンは体当たりでマクロスを沈めようとしたが失敗した



▲マクロスは旧ブリッジを使用して浮上、主砲発射態勢に入った

未沙が輝たちに背を向け、マクロスへ向かう途中、カムジンたちの攻撃が開始された。炎上するビル街。未沙と輝はマクロスへ急行しようとした。輝をとめるミンメイ。そんなミンメイに未沙は、戦いに行くのは愛する人たちのため、ミンメイが歌を歌うのと同じ理由だとさすように語った。  
マクロスはカムジン艦の攻撃でかなりの損傷を受けたが、主砲を発射、カムジン艦に大打撃を与えた。カムジンはマクロスを道連れにしようと、体当たりをかけたが、からくもマクロスは生きのびた。ミンメイは、自分の歌を見つけるためにひとり歩き始めた…。



▲輝と未沙、そしてミンメイは、それぞれの道を歩み始める。——そしてひとつの物語は終わった

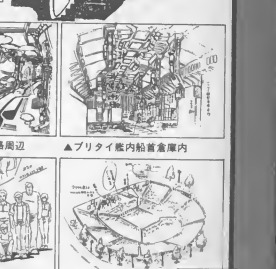
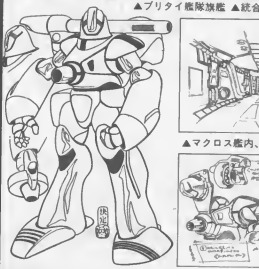
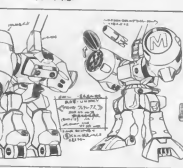
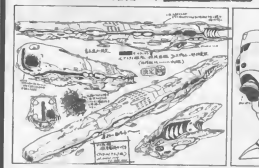
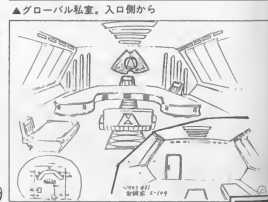
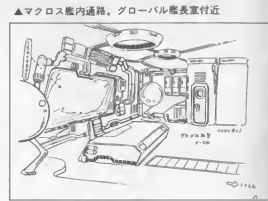
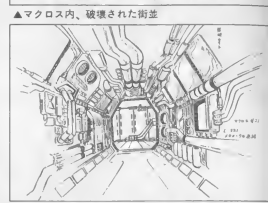
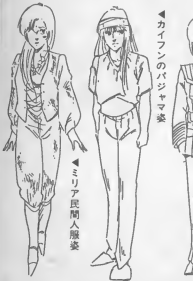
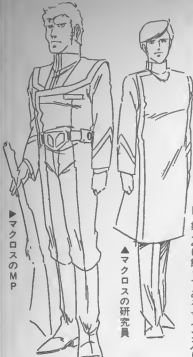






STORY DIGEST & BLUEPRINTS COLLECTION

▶ゼントラーディ兵カルハ



第23話  
スパイ3人組、  
マクロスに亡命

[illegible]

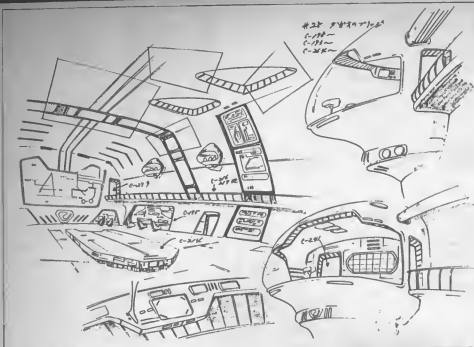




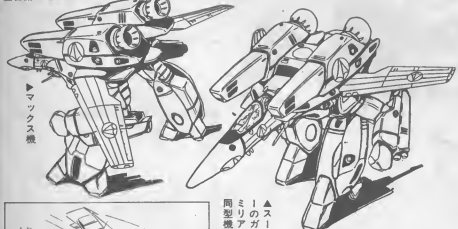




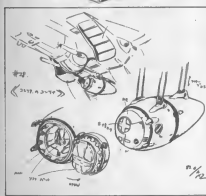




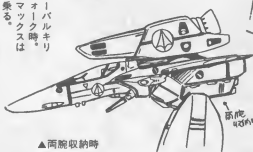
▲自動工場衛星内のダガオのブリッジ



▲マフラス

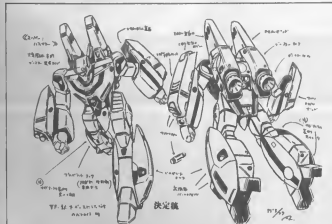


▲スーパーバルキリー  
ミリアとマフラスは  
同型機に属する

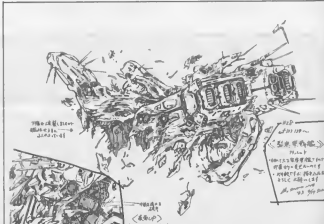


▲両脚収納時

▲バルキリーに装備するコミリアのコンテナ



▲大気圏外専用ブースター装備。スーパーバルキリーバトロイド時



▲大破している監察軍戦艦

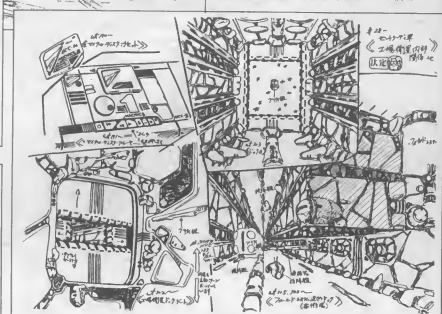
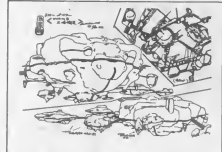


▲プラティ艦ファ  
ド作戦スイン

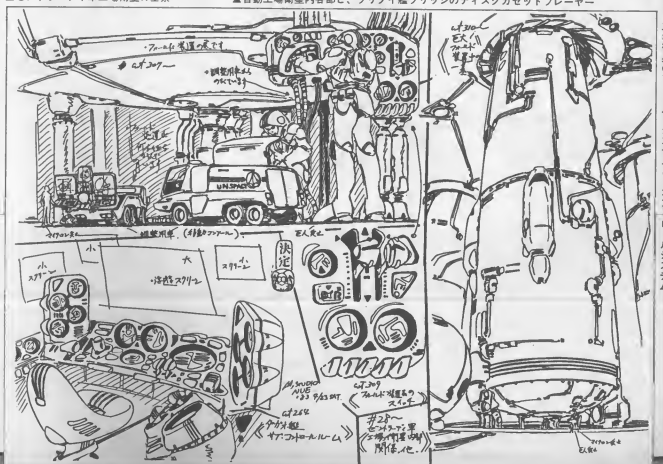
▲ゼントラーディ軍目  
動工場衛星のダガオ司



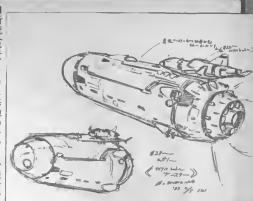
▲マクロス基地空港管制タワー内管制室



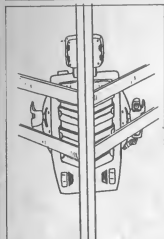
▲自動工場衛星内各部と、プラティ艦ブリッジのディスクカセットプレーヤー



▲工場衛星のファウルシステムと、コンキローリスシステム



▲連結シャトルブースター。ゼントラーディ軍の  
自動戦艦建造工場衛星奪取作戦にて使用



の  
ト  
ッ  
ド  
・  
シ  
テ  
イ

マダモス #2

C-109 トキトキ 菊屋  
マダモス 菊屋のふたは 6 連の C-1



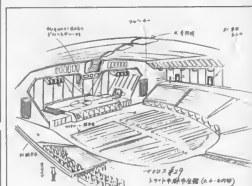
上がゼントラディ人  
テイ



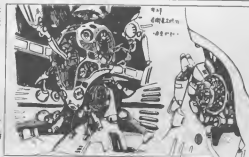
▲マクロス・シティ  
公衆電話ボックス。  
話は多機能になったが、  
ボックスそのものは、  
現代と大差ない。



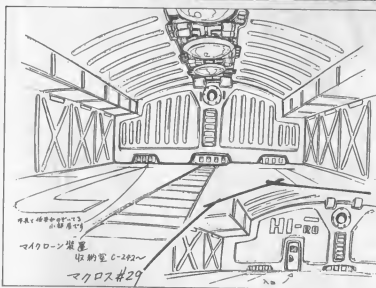
▶トラッドの市長。街の大半はゼントラーディ人が住んでおり、マイクロローン装置が置いてある。ゼントラーディ人の不満分子が暴動を起こす。

[illegible]

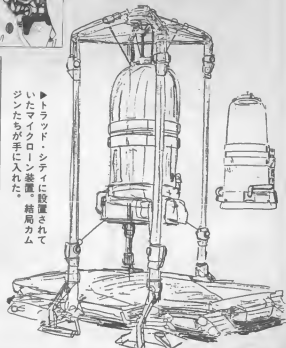
▲工場衛星格納庫。工場衛星を視察に来た、グローバルのシャトルが到着した発着ポート



▶バトルボッドが次々と作られていく、工場衛星の作業機械



いたマイクロン装置。結局カムジンたちが手に入れた。



第31話  
セントレーデー  
人の秘密とは？

[illegible]





▲クロディアがフォッカーと初対面した基地

▲当時開発中だった戦闘機VF-Xの構造図。後に変形可能タイプとなって、バルキリーと呼ばれるようになった。フォッカーが試乗

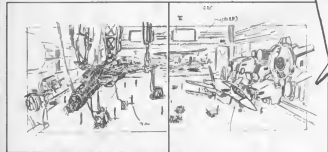
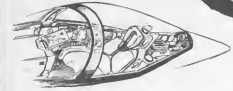
▲統合戦争の際、フォッカーが愛用していたマックネル・ドラーのドラゴン目タイプの戦闘機

▲フォッカーのジープ。統合軍の払い下げ品

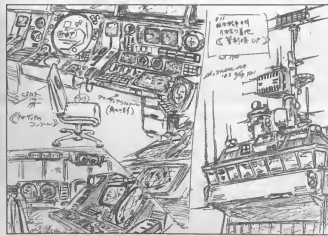
▼統合戦争で、各派各勢力が使用していた戦闘機が、35%以上の機体向プレートで機体を集めていた。



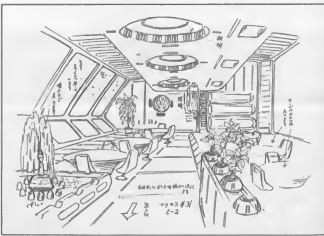
▲統合戦争時機体の構造図



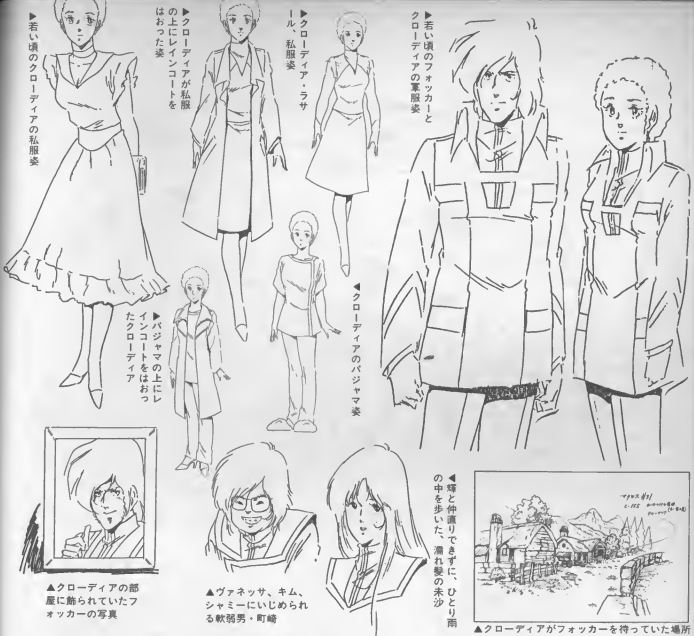
▲統合軍試作工場。ここで飛行試験機VF-Xが作られた。



▲統合戦争時、クロディアが配属された基地の管制塔外観と内部



▲クロディアが未沙に紅茶の店を渡したマクロス内喫茶室



▲クロディアがフォッカーと初対面した基地

▲クロディアの制服姿

▲クロディアの制服姿

▲クロディアの制服姿

▲クロディアの制服姿

▲クロディアの制服姿

▲クロディアの制服姿

▲クロディアの制服姿

▲クロディアの制服姿

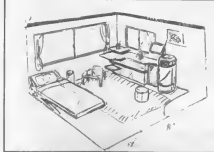
▲クロディアの制服姿

▲クロディアの部屋に飾られていたフォッカーの写真

▲ヴァネッサ、キム、シャミーに似せられる軟弱男・町崎



▲クロディアがフォッカーを持っていた場所



▲輝の部屋。輝はここで未沙のことを回想



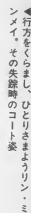
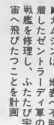
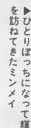
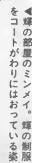
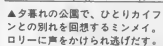
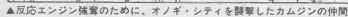
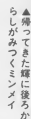
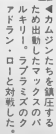
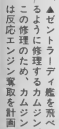
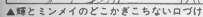
▲クロディアの家の居間。ここで思い出話



▲統合軍専門技術者養成所の宿舎

第33話  
フォッカーの思い出と輝と……





輝に救いを求めるミンメイ……

[illegible]





しまだひであき



美樹本晴彦

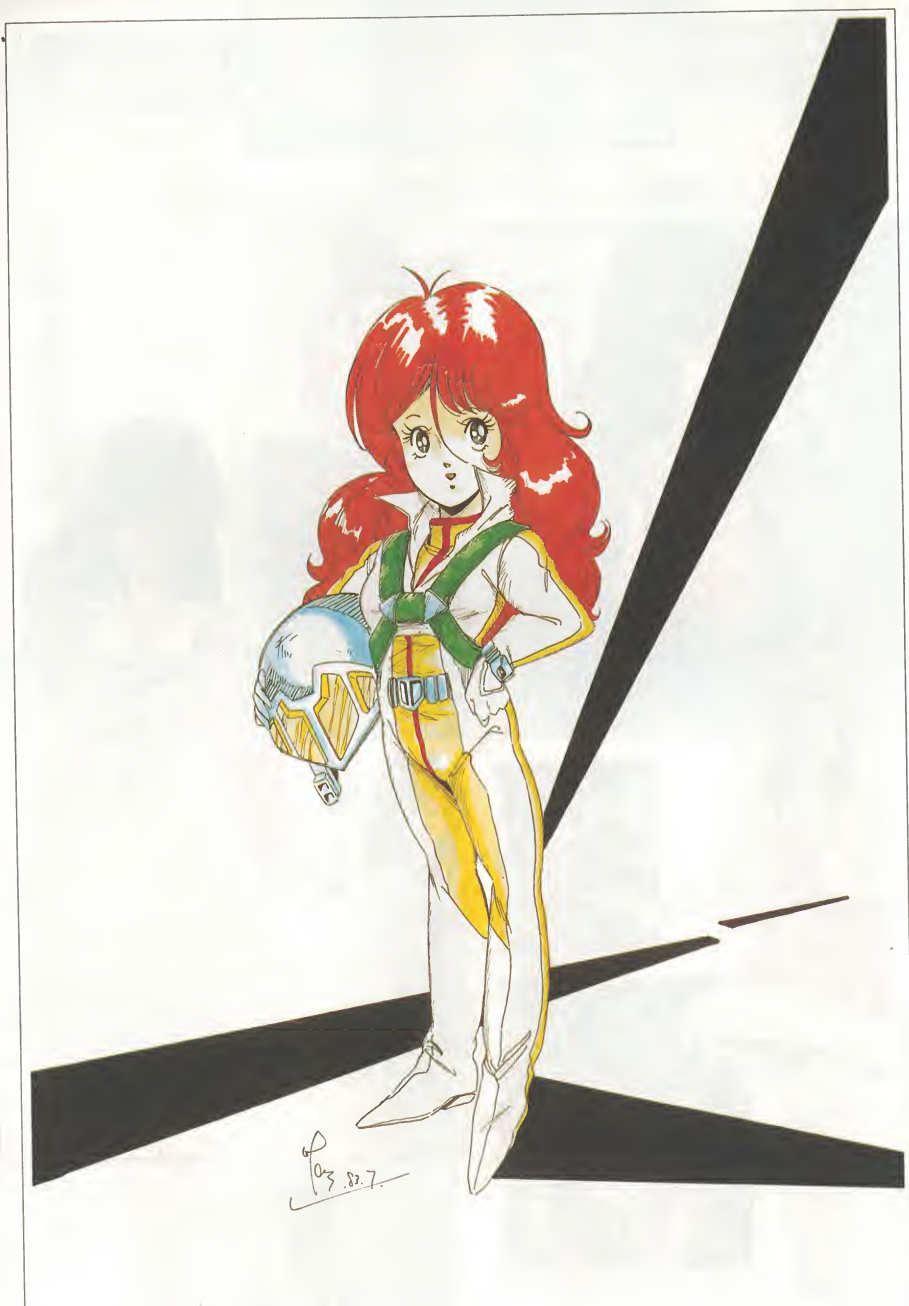




田山 美由紀



田山 美由紀



マクロス

# ギャルズ

アルバム

♡MACROSS GAL'S ALBUM♡

「マクロス」に登場した女の子たちを集合させた、思い出アルバム。

リン・ミンメイ

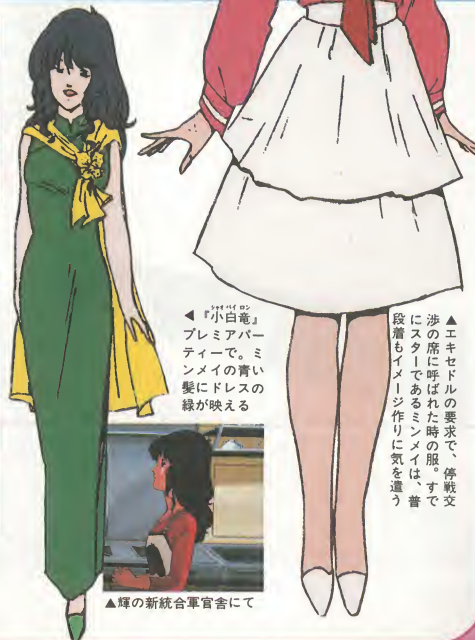
とにかく可愛く、でも麗しき少女の姿。その微笑みはあまくても明かす。ほんのちやふりいじわる。それはアイドルとして最高の条件。そして、おとなになっても失わない輝きは、エンターテイナーとしてのミンメイの才能の証明。



▲ミス・マクロスコンテスト



▲サイン入りプロマイド



▲エキセドルの要求で、停戦交渉の席に呼ばれた時の服。すでにスターであるミンメイは、普段着もイメージ作りに気を遣う。

▲「小白竜」プレミアパーティーで。ミンメイの青い髪にドレスの緑が映える。



▲輝の新統合軍官舎にて



あなたが軍をやめてくれれば、私も歌手をやめるわ！



▲コンサート用の衣装。袖のシースルー、裾のフサフサがキュート。



▲女子高生らしい普段着



ん〜、でも私カメラ写りがブスだから

▼コンサートポスター

Lynn Minmay  
in Macross



LOVELY CONCERT  
2010

ごめんね………  
輝……私、何に  
もしてあげられ  
ない……



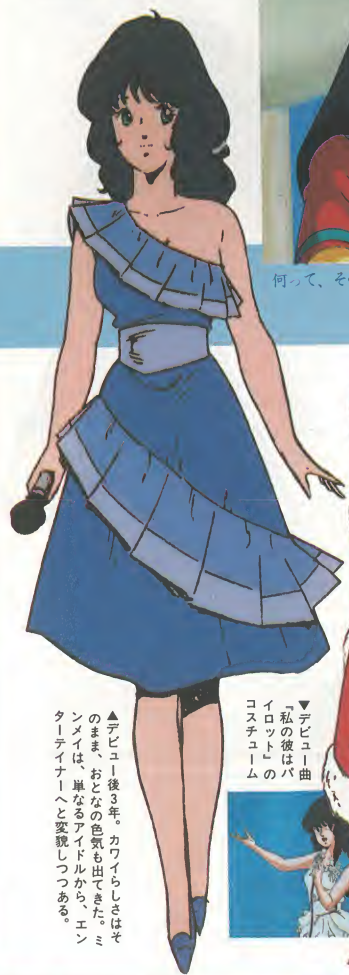
▲男物のシャツが色っぽい



▲首のリボン、シースルーの袖と袖止め、水玉がポイント



何って、その〜、それはやっぱり……



▲デビュー後3年。カワイしさはそのまま、おとなの色気も出てきた。ミンメイは、単なるアイドルから、エンターティナーへと変貌しつつある。

▼デビュー曲「私の彼はパイロット」のコスチューム



▲右と同じコート。ミンメイはこのコートがお気に入り。下は普段着



▲デビュー後2年。色々なできごとが、ミンメイを少しおとなっぽくしたみたい

▲「小白竜」撮影中、輝のお見舞い。衣装用のサングラスが、有名人のステータスシンボル。





▲ブリティ艦内にて

あらゆる意味で、  
当におごる女性。彼  
女の魅力は、相手か  
んな状況の時でも、変  
わらず思いやりのある  
接し方をしてくるこ  
と。そんなステキな女  
性になったのも、フォ  
ッカーがいたからぞ。

# クローディア・ラサール

▲マクロスに勤務するようになってからのクローディア

それでも半分興味があつたからデートに応じたの。そしたら



▲統合軍本部にて、航空管制員のひとりとして勤務する未沙



あいづつたら、またミンメイさんのこと……

▼久しぶりに対面する親子。ゼントラディとのかかわりは、親子の間に深い溝を作ってしまった



▲大戦争から2年。最近、たまに輝の家を掃除しにきたりしている



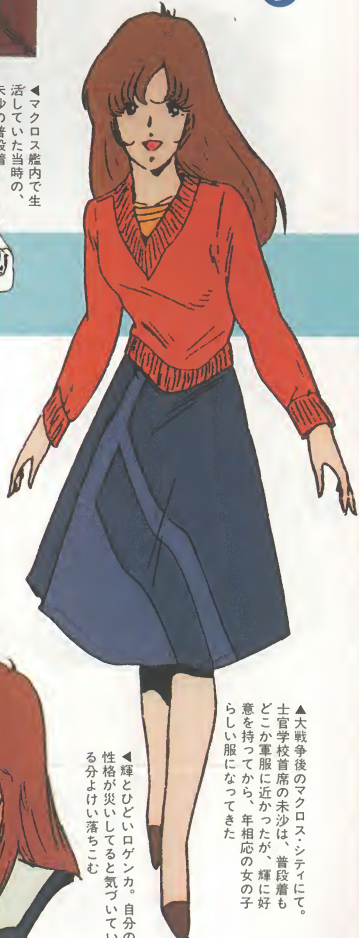
▲13歳。父母といっしょに



また、ひとりぼっちね



▲マクロス艦内で生活していた当時の、未沙の普段着



▼恋に酔ってルンルン気分。未沙は、人一倍女の子らしい性格



▲笑顔も温かくなってきた未沙



今なら素直に言える。一条君、あなたが好きでした。  
ミンメイさん、歌を大切に。



▲輝とひどいロケンカ。自分の性格が災いしていると気づいて、る分だけい落ちこむ



▲士官学校入隊当時。13歳

# 早瀬未沙

軍人の家に生まれ、小さい頃から軍人ばかり見て育った未沙。彼女にとつて、まるで軍規を無視した輝の、民間人そのまの生き方は新鮮だった。それが女性としての心を、外へ開かせるきっかけともなったのだろ。

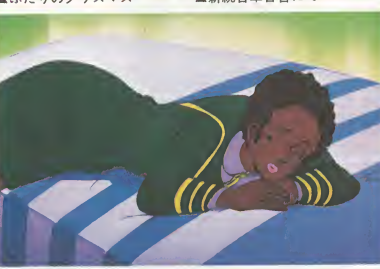
▲大戦争後のマクロス・シティにて。士官学校首席の未沙は、普段着もどこか軍服に近かったが、輝に好意を持つてから、年相応の女の子らしい服になってきた



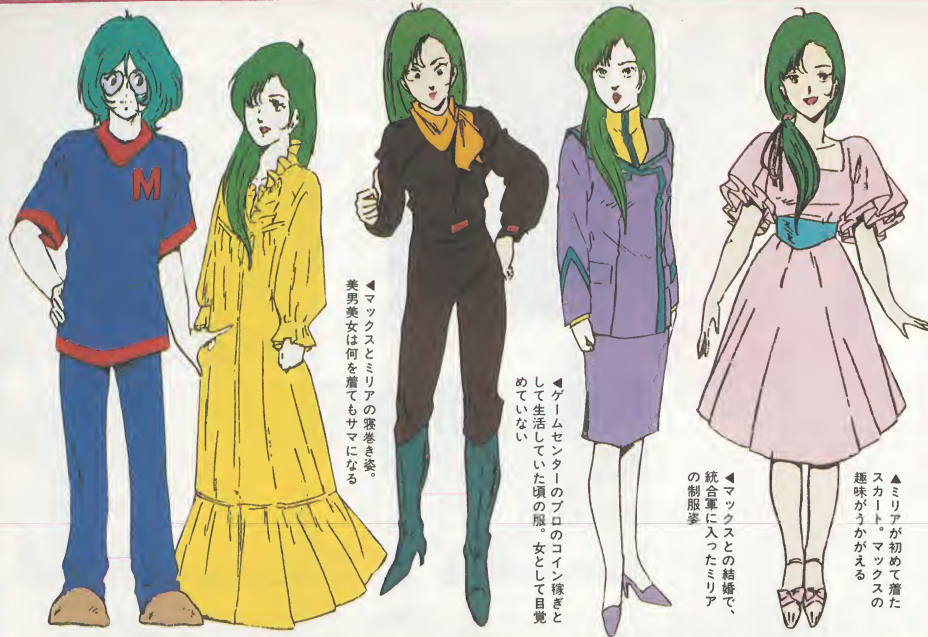
▲ふたりのクリスマス



▲新統合軍官舎にて



ロイ……あなたの赤ちゃん、どう抱けなかったわね……



▲マックスとミリアの豪華な装束。美少女は何を着てもママになる

▲ゲームセンターのフロアのコイン稼ぎとして生活していた頃の服。女として目覚めていない

▲マックスとの結婚で、統合軍に入ったミリアの制服姿

▲ミリアが初めて着たスカートのマックスの趣味がうかがえる

## ラブラミズ

▶ボドル基幹艦隊の親衛隊ともいえる、直衛艦隊を率いる司令官だったラブラミズ。文化に汚染された者として消されそうになったことから、マックスとともに基幹艦隊と戦った。しかし文化につかたものの、地球人への好意などはなく、カムジンとともに新統合軍と戦う



マリ子：あなたの出番トリにしてもらったわ。あつちは、あれで気を遣っているつもりなのよ  
ジャミス：やめて！ここはハリウッドじゃないのよ

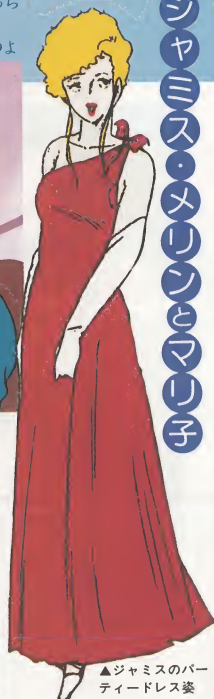


## 統合軍管制官

▶新人のクロイディアが配属された基地の同僚。管制官は女ばかりという統合軍の配役は特筆物だ

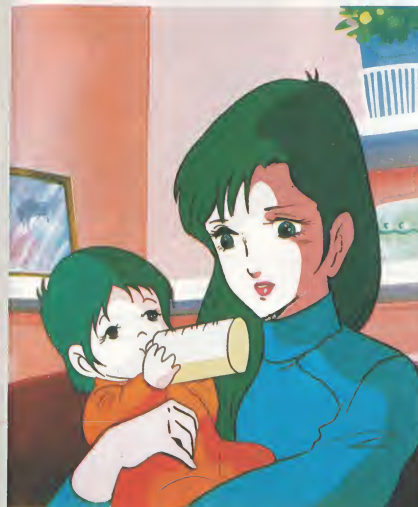


## ジャミス・メリンとマリ子



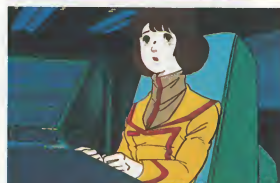
▲ジャミスのパーティードレス姿

人のものを借りるより、自分のを作ればいいではないか



## ピンポイントバリアーギャル

▼本来、ブリッジの交替要員だった、ピンポイントバリアーギャル



▲新統合軍の飛行服

セントラディ軍にその名も高き天才ミリア。マックスとの出会いは、宇宙の大革命であった。才色兼備で素直な性格と三拍子揃ったミリアと、天才マックスとの間に生まれた愛娘ミリアも、超天才美少女に違いない。



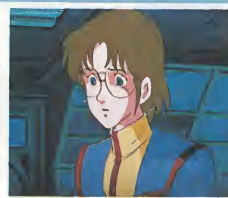
▲親子3人水入らずの聖夜



▲ミリアのウェディングドレス。彼女は本当の美少女だと納得する

## ヴァネッサ キム シャミー

▼マックス内の基地ゲート付近。未沙とともに街へショッピングに出かける3人娘



▲ブリッジの正統派シャミー



# マクロス 2大座談会!

## パート A マクロスの原点をさぐる!



3回目を迎えたこの『超時空要塞マクロス』特別座談会。今回はしめくくりとして「マクロス」の企画の原点からシリーズを振り返っていただいた。

## パート B 未沙をかこんで!



ザ・セレクト『超時空要塞マクロス』も今回で最後。そこで最後を飾り、特別座談会の第2部として、音響・レコードなどの話題を、早瀬未沙役・土井美加さんを中心に語ってもらった。



▶マクロス・シティの酒場のウェイトレス



▲平和な生活に不満のつるセントラディ人の乗るリガートが、地球人を襲う



▶地球環境面前。統合軍兵士と女の子。妙な静けさが、逆に直後の戦いの激しさを暗示する



▲ミス・マクロス最終選考に残った女の子たち。中央はミンメイ



▲ミス・マクロス最終選考に残った5人のうちのひとり

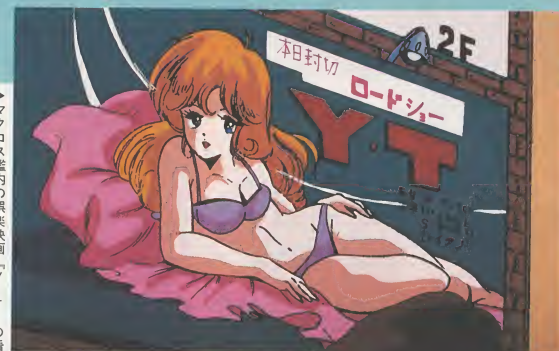


▲ミス・マクロス出場者。控室の一風景



▲マクロス艦内病院の優しい看護婦さん。味方のミサイルにやられた輝が入院した時、輝を受けもった

▶板。主役の女の子はミンメイに負けずカワイらしい



▲ミンメイのおばさん。『娘々』のおかみさんである。息子（カイフ）の年齢から考えると、かなり年がいてはいるはずだが、とても若い



▲グランテ・シティで、ミンメイのコンサートを見に来ていた女の子。3人ほど後ろに輝がいた

▶サウスコースト・シティのコンサートで、ピアノを弾いていた女の子



# アニメーター泣かせの企画始まる

巨人族設定の理由

10か月間わたって続いていた時空軍でマクロス、この作品は、アニメーター泣かせの企画始まる。巨人族設定の理由。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。



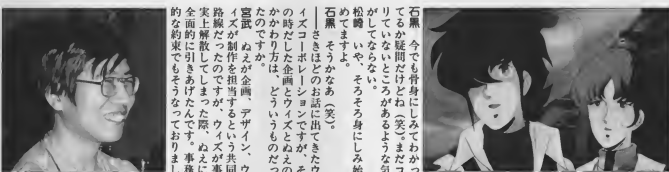
巨人族設定の理由。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。

巨人族設定の理由。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。

巨人族設定の理由。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。



巨人族設定の理由。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。



巨人族設定の理由。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。

巨人族設定の理由。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。

巨人族設定の理由。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。巨人族は、制作費削減のため、おなじみのキャラクターを、おなじみの設定で描く。









美加さんには、どのスタッフも思い入れ十

[illegible][illegible]

レディの、あんなにほろりとかっこいいところを  
するよ。あらはこうって、  
何かさかつかうから胸を見せるの  
ようとかさつこうをするよ。見る人々も  
大でしようね。おとこ、おとこも  
たんに食事でテレビを見てる世界笑  
とは全然違ってる。

**みんな美加ブアン**

→再放送でアプレコが直す。  
いう通り、耳にしたのが直す。  
本田 それはまだ、正式にOKな  
ものだった話ではないんです。アプレ  
コといふのは、絵と音が生きたクリ  
エーションといふことがありま  
す。その辺りでこのことあります。  
ではアプレコを録り直す。  
うな。それは。

本田 それは考えていません。そ  
ういふ必要はないと思っております  
(突然、食を食べ物「マッパ」  
ローズを隠れる。10分後、座敷で  
家田中(高橋)が、だいたい、いつ  
かならぬほど、肝心の話を話して  
聞くらぬ。ほとんど確証はば  
かり。(笑)

本田 これで羽根さんご加わった  
羽根先生ですという。うな。

[illegible]

土井 もつ、本所に気持よくレコーディングをさせていただきました。このテープからは、いつもいんなことを歌っていらしていましたが、今度新曲を歌うんです。最初はえ、ソニーのオーディションで、おもしろいところへ来たんだと喜んでたんですよ。所収

■田中 実吉君は田中さん本所へ来ると土井さんと井上さんが、誰かが話さないと井上さんするで、土井さんと井上さん（笑）

■家田 技がけで交しつてやん（受）

■家田 田中だけじゃあ加わらんが本所の奥に気が付いたら、千鶴ちゃんも出てくるから、それならいいです。ついでに聞かせなすか、「もう一度です」ついでに聞かせなすか。

■土井 よ、そふ。うちのスタッフも、その担当として準備した、たたまたまふとが多くて、今朝仕事でお出るのとあわせて、今更にお出でなすかといふわけじゃないけど、いまいる間は少ないんじゃないかとはいえるんですけど、いままで新鮮感を感じながら、忘れないうちでね。

■それとは近はアレクサワークスのこと。それはいい。アレクサワークスってなんないや。やり方の環境を作ったみたいなやつだよね。にああ、あれがたつたやつだよね。

■井上 たでん映れりませんからね。そこで未だの映れりません。

■今日まだよ。ありかとうござりました。

永田宇弘  
ビクターレコード所属ディレクター

分。お互い牽制しあっているのだ!!



本田保則  
今、一番の売れっ子音響監督のひとり。

[illegible]

ツチノコを聞いてね。あーあやばやば、おれは知らん。これはオレがオレで、  
「富田」で若い子の子かんがわい。わい  
れば、やつはチヤッカリチヤッカリ  
キリで出てくる。それがつりやうで  
はキーンキーン下よ。(笑)  
富田 それで作った本(笑)の巻の巻  
は田中俊之助の作品  
「おれは泥まきでない」は「バツグン  
なドカン」で、おれは「バツグンなド  
カン」だ。(笑)  
本田 富田さんも、ひつり間違え  
たから恥かいてるんだよねこと  
平気な顔してるんだよねこと  
富田 へい、おれはさ、この御事でね  
本田 鋼が浮んだ、この御事でね  
それへ「笑う」以外で作詞しな  
作品はありまふ  
富田 いえ、これが初めてです  
「吉原万々」  
田中 一番変わったのは、難  
い言葉を使っちゃったようにした  
家康、おれはさ、おれはさ、おれは  
テクニクに生じる人間で、みんな  
仕事が多ききんぐだよねこと  
それだけ「マクロス」には、合  
なかつたでしては、マクロスは  
は作詞家としては、マクロスは

[illegible]

ラックダウンの時、マルチナのドラマとあるいはチャールスつちやう、あるいは強くちやういろいろな歌をするわけでは井上とそうするを全然いじりてが少なくなることの勝利もかな(笑)『私生活』なんでも本来、楽曲として録るものがB.Mとして録りつるもの

本田：純粋なB.Mの曲は、楽曲として、そしてメロメロの曲について、おやうと音楽の井上、その好きがえつてよかたんじやない、神入歌つことやつたら大編成でもつちやう本田：そうしたあんまりデビの曲の感じ、ぎやうぎやう、遠くでかてもよめまてく

1つよきさん、さすたツッ

本田：僕が、私の娘、1枚目に入れたかったの、3枚目、4枚目につながらない、笑、ほんの偶然のことだったんだけど、あの運命の曲は、また、曲がデビと一曲にはなると



永田守弘  
ビクターレコード所属ディ



富田祐弘  
第一線のシナリオライター。

# マクロスヒット曲

魅力たっぷりのマクロスソング。『星』『やさしさSAYONARA』は最終のささやき』はLP第3集のテーマ曲。回のラストに使われた。

## 星のささやき★

阿佐 浩司(原曲) 富田健一郎(作曲) 菅 純(編曲)

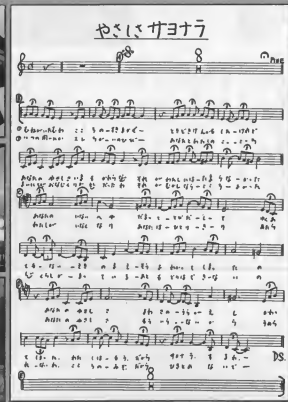
夜空の星に願いをこめて  
私の願いがかなうまでは  
いらいあなただけの耳もとに  
そっとささやく夢の詩  
ドリーミング・ナイト  
スクーラー・ナイト  
ドリーミング・ナイト  
スクーラー・ナイト  
スターライト・ソング



## やさしさSAYONARA

阿佐 浩司(原曲) 富田健一郎(作曲) 菅 純(編曲)

胸が痛む心スキ間風  
時々ケンカもしたけれど  
あなたのやさしさは今も変わらない  
あなたが私にはたまらなかった  
あなたがいない部屋  
だまっていび出して  
行くあてもない駅の  
そよ風がわかってしまったの  
あなたのやさしさ  
弱さの裏返し  
変わってしまった私のもう  
だから サヨナラするわ



いつの間にかスレ違ひの日々  
あなたがと私の心  
毎日が同じ 繰り返したつたわ  
それが昔なら こころよかつた  
私がいなくなり  
新しい暮らしがときり  
後展りは 出来ないの  
あなたのやさしさ  
もういないわ  
心のもう  
だから ひきこめたいで

第1話から最終話まで  
全話のサブタイトルと  
メインスタッフを完全  
紹介!!

## 放映リスト

話数	放映日	サブタイトル	脚本	絵コンテ	演出	キャラクター	メカ作画	美術監修
1	10/3	ブービー・ドラッグ	松崎 健一	石 黒 昇	高山 文彦	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子
2	10/3	カウント・ダウン	松崎 健一	河森 正治	津田 康三	美術本崎彦	板野 一郎	多田喜久子
3	10/17	スペース・ウォール	松崎 健一	山田 勝久	康村 正一	雨 美 奈	佐 佑 伸	広 明
4	10/24	リン・ミンメイ	石 黒 昇	高山 文彦	高山 文彦	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子
5	10/31	トランスフォーメーション	富田 祐弘	康村 正一	鈴木 英二	板野 一郎	佐 佑 伸	広 明
6	11/14	ディグロス・アタック	富田 祐弘	石 黒 昇	高山 文彦	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子
7	11/23	バイバイ・マルス	松崎 健一	山田 勝久	康村 正一	鈴木 英二	板野 一郎	佐 佑 伸
8	11/28	ロングスト・バーサード	松崎 健一	山田 勝久	康村 正一	鈴木 英二	板野 一郎	佐 佑 伸
9	12/5	ミス・マクロス	富田 祐弘	山田 勝久	山田 勝久	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子
10	12/12	ブラインド・ゲーム	松崎 健一	高山 文彦	吉田 浩	鈴木 英二	板野 一郎	佐 佑 伸
11	12/19	ファースト・コンタクト	富田 祐弘	河森 正治	高山 文彦	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子
12	12/26	ビッグ・エスケープ	富田 祐弘	河森 正治	秋山 勝仁	平野 俊弘	板野 一郎	佐 佑 伸
13	1/9	ブルー・ウィンド	松崎 健一	山田 勝久	田中 宏之	朴 炯 仁	朴 炯 仁	多田喜久子
14	1/16	グロービー・レポート	石 黒 昇	石 黒 昇	石 黒 昇	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子
15	1/23	チャイナ・タウン	松崎 健一	矢吹 愛弓	高山 文彦	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子
16	1/30	カンフー・ダンディ	大野木 寛	康村 正一	鈴木 英二	板野 一郎	佐 佑 伸	広 明
17	2/13	ファンタズム	黒河 彰次	河森 正治	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子	多田喜久子
18	2/20	バイン・サラダ	星山 博之	石 黒 昇	高山 文彦	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子
19	2/27	バースト・ポイント	富田 祐弘	河森 正治	秋山 勝仁	平野 俊弘	板野 一郎	佐 佑 伸
20	3/6	パラダイス・ロスト	松崎 健一	山田 勝久	吉田 浩	朴 炯 仁	朴 炯 仁	多田喜久子
21	3/13	ミクロ・コスモス	大野木 寛	石 黒 昇	並原 達也	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子
22	3/20	ラブ・コンサート	星山 博之	秋山 勝仁	秋山 勝仁	朴 炯 仁	朴 炯 仁	多田喜久子
23	3/27	ドロップ・アウト	大野木 寛	康村 正一	鈴木 英二	板野 一郎	佐 佑 伸	広 明
24	4/3	グッバイ・ガール	富田 祐弘	高山 文彦	高山 文彦	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子
25	4/10	バージン・ロード	富田 祐弘	田中 宏之	吉田 浩	朴 炯 仁	朴 炯 仁	多田喜久子
26	4/17	メッセンジャー	松崎 健一	秋山 勝仁	秋山 勝仁	平野 俊弘	板野 一郎	佐 佑 伸
27	4/24	愛は流れる	松崎 健一	黒河 彰次	河森 正治	美術本崎彦	板野 一郎	多田喜久子
28	5/1	マイ・アルバム	星山 博之	石 黒 昇	高山 文彦	山崎 英明	板野 一郎	勝井 和子
29	5/8	ロンリー・ソング	富田 祐弘	康村 正一	康村 正一	朴 炯 仁	朴 炯 仁	佐 佑 伸
30	5/15	ビバ・マリア	大野木 寛	高山 文彦	並原 達也	鈴木 英二	板野 一郎	多田喜久子
31	5/22	サタン・ドール	富田 祐弘	秋山 勝仁	秋山 勝仁	平野 俊弘	板野 一郎	佐 佑 伸
32	5/29	フロンク・ハート	大野木 寛	山田 勝久	吉田 浩	朴 炯 仁	朴 炯 仁	多田喜久子
33	6/5	レイニー・ナイト	星山 博之	石 黒 昇	並原 達也	鈴木 英二	板野 一郎	勝井 和子
34	6/12	プライベート・タイム	大野木 寛	西森 明良	秋山 勝仁	朴 炯 仁	朴 炯 仁	佐 佑 伸
35	6/19	ロマネスコ	富田 祐弘	高山 文彦	高山 文彦	美術本崎彦	板野 一郎	勝井 和子
36	6/26	やさしさ サヨナラ	河森 正治	康村 正一	康村 正一	平野 俊弘	板野 一郎	多田喜久子



THIS IS ANIMATION  
ザ・セレクト⑦

超時空要塞マクロス(下巻)

CONTENTS

オリジナルポスター

早瀬未沙ポートレート／美樹本晴彦	3
マクロス監全機発進／河森正治	6
フィルムストーリー 第19話～第36話	9

ストリーミングリスト

第19話 BURST POINT	58	第28話 MY ALBUM	70
第20話 PARADISE LOST	59	第29話 LONELY SONG	72
第21話 MICRO COSMOS	60	第30話 VIVA MARIA	74
第22話 LOVE CONCERT	62	第31話 SATAN DOLL	78
第23話 DROP OUT	63	第32話 BROKEN HEART	80
第24話 GOOD-BY GIRL	64	第33話 RAINY NIGHT	82
第25話 VIRGIN ROAD	66	第34話 PRIVATE TIME	84
第26話 MESSENGER	67	第35話 ROMANESQUE	86
第27話 愛は流れる	68	第36話 やさしさ、サヨナラ	88

マクロス・イラストレーションズ	89
河森 正治	89
美樹本晴彦	90
しまだ ひであき	91
板野 一郎	92
垣野内成美	94
門上 洋子	95
高山 文彦	96
平野 俊弘	97

マクロス・ギャルズ・アルバム	98
----------------	----

特別座談会 PART3 マクロス2 大座談会	105
A: マクロスの原点をさぐる／	106
B: 未沙をかこんで／	114
マクロスヒット曲	118
放映リスト	119

- カバーデザイン——DOM DOM
- 編集制作——海潮工房
- フォトグラフィ——三田部 勉、中島秋利
- 取材協力——ビックウエスト、電の子プロ、アニメフレンド、スタジオぬえ、アートランド  
ビクターレコード(敬称略)

©毎日放送・ビックウエスト

日本音楽著作権協会第8350763号

編集兼発行者／相賀 徹夫

発行所／小学館

〒101 東京都千代田区一ツ橋2-3-1 振替 東京8-200番  
印刷所／大日本印刷株式会社

This is ANIMATION ザ・セレクト⑦  
超時空要塞マクロス (下巻)  
昭和58年9月10日 第1刷発行  
昭和59年4月20日 第2刷発行

定価 780円

小学館 Printed in Japan

電話(編集)03-292-9244 (業務)03-230-5331 (販売)03-230-5737

ISBN4-09-101510-7